

# 応用情報技術者

午前対策問題集

Information-Technology Engineers Examination

無料体験入学者用



TAC

本書に記載されている会社名または製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。  
なお、本書では、各社の商標または登録商標については® および™ を明記していません。

## はじめに

この問題集は、弊社刊「応用情報技術者試験対策テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ」の各学習項目に対応させて作成された問題集です。応用情報技術者試験の午前試験出題範囲である各分野(テクノロジー系, マネジメント系, ストラテジ系)の問題を、広く多数掲載しています。

本書は、過去の情報処理技術者試験において出題された午前問題で構成されています。実際の応用情報技術者試験の出題内容に合わせ、テーマごとに問題を集めて掲載しています。

試験に合格するためには、テキストによる知識のインプットだけではなく、問題演習によるアウトプット(力試し)が非常に重要になります。問題を解き、間違えた問題のジャンルについては学習しなおして再度挑戦するという学習サイクルを身に付けましょう。

本書が、応用情報技術者試験の合格のお役に立てることを願ってやみません。

TAC 情報処理講座

# 目次

問題編.....	1
I. ベーステクノロジー.....	3
1. 基礎理論.....	4
2. データ構造とアルゴリズム.....	16
3. コンピュータシステム.....	28
4. システム構成技術.....	38
5. ソフトウェア.....	52
6. ハードウェア.....	62
II. システムの利用と開発.....	69
1. インタフェースとマルチメディア.....	70
2. データベース.....	75
3. ネットワーク.....	93
4. 情報セキュリティ.....	106
5. システム開発.....	138
III. マネジメントと戦略.....	153
1. プロジェクトマネジメント.....	154
2. サービスマネジメント.....	168
3. システム監査.....	178
4. システム戦略.....	187
5. 経営戦略.....	199
6. 企業活動.....	216
7. 法務.....	227

解答・解説編	235
I. ベーステクノロジー	237
1. 基礎理論	238
2. データ構造とアルゴリズム	250
3. コンピュータシステム	263
4. システム構成技術	273
5. ソフトウェア	285
6. ハードウェア	296
II. システムの利用と開発	303
1. インタフェースとマルチメディア	304
2. データベース	309
3. ネットワーク	322
4. 情報セキュリティ	336
5. システム開発	362
III. マネジメントと戦略	377
1. プロジェクトマネジメント	378
2. サービスマネジメント	392
3. システム監査	399
4. システム戦略	408
5. 経営戦略	418
6. 企業活動	434
7. 法務	444

[出典表記について]

本書では、各問題の出典を問番号の下に略記形式で記載しています。  
試験区分は以下の表記を用いています。

AP	応用情報技術者
SW	ソフトウェア開発技術者(旧)
FE	基本情報技術者
IP	ITパスポート
AD	初級システムアドミニストレータ(旧)
AU	システム監査技術者
SD	上級システムアドミニストレータ(旧)
ST	ITストラテジスト
DB	データベーススペシャリスト
NW	ネットワークスペシャリスト
SC	情報セキュリティスペシャリスト
PM	プロジェクトマネージャ
SM	ITサービスマネージャ
SA	システムアーキテクト

区分名の下には、年度と春／秋の別、問番号を記しています。たとえば“H22秋問54”ならば平成22年春期の問54，“R01秋問2”ならば令和元年秋期の問2になります。また、高度区分は午前Ⅱの問番号を記しています。

# 問題編

---





# I. ベーステクノロジー

---

## 4. 情報セキュリティ

問259 完全性を脅かす攻撃はどれか。

AP

H24秋問40

- ア Web ページの改ざん
- イ システム内に保管されているデータの持出しを目的とした不正コピー
- ウ システムを過負荷状態にする DoS 攻撃
- エ 通信内容の盗聴

問260 JIS Q 27000:2019（情報セキュリティマネジメントシステム－用語）では、情報セキュリティは主に三つの特性を維持することとされている。それらのうちの二つは  
AP  
R1秋問40 機密性と完全性である。残りの一つはどれか。

- ア 可用性
- イ 効率性
- ウ 保守性
- エ 有効性

問261 JIS Q 27000:2019（情報セキュリティマネジメントシステム－用語）において定義  
AP  
R3秋問39 されている情報セキュリティの特性に関する説明のうち、否認防止の特性に関するものはどれか。

- ア ある利用者があるシステムを利用したという事実が証明可能である。
- イ 認可された利用者が要求したときにアクセスが可能である。
- ウ 認可された利用者に対してだけ、情報を使用させる又は開示する。
- エ 利用者の行動と意図した結果とが一貫性をもつ。

問262 ISMSにおいて定義することが求められている情報セキュリティ基本方針に関する記述のうち、適切なものはどれか。  
AP  
H25秋問40

- ア 重要な基本方針を定めた機密文書であり、社内の関係者以外の目に触れないようにする。
- イ 情報セキュリティの基本方針を述べたものであり、ビジネス環境や技術が変化しても変更してはならない。
- ウ 情報セキュリティのための経営陣の方向性及び支持を規定する。
- エ 特定のシステムについてリスク分析を行い、そのセキュリティ対策とシステム運用の詳細を記述する。

問263 あるコンピュータセンタでは、インシデントを六つのタイプに分類した。  
AP  
H23春問43

- Scan： プローブ、スキャン、そのほかの不審なアクセス
- Abuse： サーバプログラムの機能を悪用した不正中継
- Forged： 送信ヘッダを詐称した電子メールの配送
- Intrusion： システムへの侵入
- DoS： サービス運用妨害につながる攻撃
- Other： その他

このとき、次の三つのインシデントに対するタイプの組合せのうち、適切なものはどれか。

インシデント1：ワームの攻撃が試みられた形跡があるが、侵入されていない。

インシデント2：ネットワークの輻輳による妨害を受けた。

インシデント3：DoS用の踏み台プログラムがシステムに設置されていた。

	インシデント1	インシデント2	インシデント3
ア	Abuse	DoS	Intrusion
イ	Abuse	Forged	DoS
ウ	Scan	DoS	Intrusion
エ	Scan	Forged	DoS